



学ぶ喜び、知る楽しさ。 第49回放送県民大学

受講料
無料

現代教養講座

受講者募集中

愛媛県では、県民のみなさまに豊かな教養と創造力を培っていただくため、現代教養講座(放送県民大学)を下記の県下3会場で開催します。会場ごとに講座に関する映像をご覧いただき、愛媛大学をはじめとした先生方による講座を受けて、知識を深めていただきます。

中予会場
松山市



愛媛県 生涯学習センター

- 開講時間 / 10:00～12:00
- 定員 / 各100名

10/25 日

学び含
えひめ

講義内容

韓国と日本の暮らしを
振り返って思うこと

講師

松山市包括支援センター湯築・桑原・道後
社会福祉士 金(岩城) 恵

11/15 日

学び含
えひめ

講義内容

「えひめ文学館」より
-矢内原忠雄(今治)、喜安璣太郎(松前)、
アーネスト・サトウ(宇和島)-

講師

松山大学・岡山理科大学獣医学部
非常勤講師、会議通訳者

菅 紀子

12/13 日

学び含
えひめ

講義内容

ことばをやさしく、つながりを深く
-多文化共生を進めるために

講師

東京大学名誉教授

向井 留実子

東予会場
新居浜市



愛媛県 総合科学博物館

- 開講時間 / 13:30～15:30
- 定員 / 各60名

9/6 日

学び含
えひめ

講義内容

地域の文化資源を活かす
まちづくり・観光振興

講師

愛媛大学社会共創学部 教授

井口 梓

10/4 日

学び含
えひめ

講義内容

ルーマニアの文化と日本の文化

講師

松山しののめ認定こども園 保育教諭

チエウシュジョルジエッタ

12/6 日

講義内容

『徒然草』に見る品性と教養の高め方

講師

聖カトリナ学園高等学校 教諭

田中 千晶

南予会場
八幡浜市



八幡浜みなとと みなと交流館

- 開講時間 / 13:30～15:30
- 定員 / 各60名

9/12 土

講義内容

家を見つめた方丈記
～災害の時代を生きる～

講師

元愛媛大学国際連携推進機構
非常勤講師

村尾 恵一

10/3 土

講義内容

放送100年を検証する
-何を伝え何を伝えなかったか-

講師

愛媛大学元客員教授

木藤 隆雄

12/12 土

学び含
えひめ

講義内容

「満洲国」で教えた人びとは、
その後どう生きたのか
-戦争・教育・ことばの戦後史

講師

愛媛大学国際連携推進機構 准教授

伊月 知子

※やむを得ず日程・講師の変更や講座の中止を行う場合がございます。最新情報はホームページ (<https://www.i-manabi.jp/>) をご確認ください。

主催：愛媛県生涯学習センター、愛媛大学

後援：愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

中 予 会 場 / 松 山 市



きむ いわき うね
金(岩城) 恵

韓国全羅南道麗水市出身。韓国順天国立大学日本語日本文学科卒業。松山市地域包括支援センター湯築・桑原・道後で社会福祉士として勤務中。

大学3年生の20才の時に、韓国からの交換留学生として日本に足を踏み入れてから、もう27年が経ちました。これだけ長く日本にしていると、もはや日本での外国人という感覚は薄くなり、自分の国の韓国が不慣れに感じる時がたまにあります。韓ドラやK-POPの影響を受け、日本人の韓国への認知度が高くなった今だからこそ、日本での生活で自分が感じたいいろいろなことを紹介し、その中から学んだことを皆さんと分かち合いたいと思います。



かん のり こ
菅 紀子

松山市出身。松山大学・岡山理科大学獣医学部非常勤講師。日本近代文学専攻、夏目漱石から今治出身の重見周吉研究に発展。日系移民研究。会議通訳者。県文化振興財団『文化愛媛』編集委員。NPO法人アイムえひめ理事長。

『文化愛媛』誌をご存知ですか？私はその編集委員であるとともに「えひめ文学館」を担当しています。今回の講座ではその中から県内を網羅すべく、東予・中予・南予に関わる記事の一つずつ取り上げることにしました。まだあまり知られていない意外な人物や足跡、出来事についてご紹介したいと思います。愛媛の再発見をお楽しみください。



むかい るみ こ
向井 留実子

ルーツは愛媛県。愛媛大学非常勤講師。えひめ日本語教育財ネット代表理事、愛媛県地域日本語教育体制づくり事業総括コーディネーター。専門は日本語教育。

少子高齢化が進む日本では、外国の方々の力によって、生活の基盤となるさまざまな産業が支えられています。今後ますますこの傾向が強まることは避けられず、日本に住む誰もが多文化共生への意識を持つことが求められるようになりました。この講座では、日本で暮らす外国の方々や日本語を使ってどのようにコミュニケーションをとり、つながりを深めていけるのかを、一諸に考えます。

東 予 会 場 / 新 居 浜 市



いぐち あずさ
井口 梓

香川県出身。愛媛大学未来価値創造機構副機構長、地域共創研究センターセンター長、社会共創学部教授。専門は観光文化論。県内で文化振興・まちづくりに取り組む。

文化は「人間が人間らしく生きるために極めて重要であり、人間相互の連帯感を生み出し、共に生きる社会の基盤を形成するもの」(文化庁)とされ、私たちの社会を支える重要な役割を担っています。人口減少の時代となり、私たちは文化の価値を実感する機会が増えました。なぜ文化を守る必要があるのでしょうか。愛媛県内における文化資源を活かした観光やまちづくりの実践事例に触れながら、一諸に探ってみましょう。



チェアウシュ ジョルジェッタ

ルーマニア出身。松山しのめ認定こども園保育教諭。松山東雲女子大学心理子ども学科にて、日本とルーマニアの幼児教育の違いについて研究した。

私が生まれ育ったルーマニアについて、歴史や文化を紹介します。ルーマニアの独立までの流れや、「黄金期」と呼ばれたチャウシェスク時代。また、「ドラキュラ」が国を守る君主として実在していた話。そしてこれらの時代を経て、現在のルーマニア人の暮らしを、私の経験を基にご紹介します。また専門の保育についても、日本とルーマニアの違いや子どもたちの未来について、みなさんと考える機会にしたいと思います。



た なか ち あき
田中 千晶

愛媛県出身。聖カタリナ学園高等学校教諭。専攻は日本語学。方言話者の意識と日本語教授法を研究。

今回は日本三大随筆の一つである『徒然草』を紐解き、「品性」と「教養」の本質を現代の視点から考えます。知識の量にとどまらない判断力や学び続ける姿勢、そして目に見えない部分に滲み出る人間性とは何か。具体的な事例を交えながら、わかりやすく解説いたします。日常の選択や行動を見つめ直し、より豊かで品格ある生き方へとつなげるヒントを、一諸に見つけていきましょう。

南 予 会 場 / 八 幡 浜 市



むら お けい いち
村尾 恵一

千葉県出身。元愛媛大学国際連携推進機構非常勤講師。元愛媛大学教育・学生支援機構非常勤講師。専攻は日本語学。敬語や人称代名詞を研究。

『方丈記』の著者の鴨長明(かものちようめい)は、災害の多い時代に生きていました。大火事や地震などでたやすく崩れ落ちる家屋を目にして、「はたして人生において立派なお屋敷は必要なのだろうか」と自問するようになりました。現代も災害は少なくありませんが、皆さんはどう思いますか。『方丈記』を通して当時の日本を訪ねてみましょう。



き とう たか お
木 藤 隆雄

愛媛県出身。愛媛大学元客員教授。ニッポン放送アナウンサー時代は、深夜放送や演芸番組を担当。現在は、愛媛CATV「川柳天国」に出演。滑稽俳句協会会員。

昨年は、放送開始100年の節目の年でした。それを機に、自分が身を置いていた放送業界を改めて振り返ってみました。放送は大きく進歩を遂げた部分もあれば、逆に反省しなければならぬ事もあります。これまでの歴史を振り返り、率直に問題点にも言及した上で、更なる発展に向けて考えてみたいと思います。フジテレビ問題、旧ジャニーズ事務所問題も取り上げる予定です。



い つき とも こ
伊月 知子

大阪府出身。愛媛大学国際連携推進機構准教授。専門は日本語教育と植民地教育。留学生の日本語授業を担当する傍ら、中国東北方の戦時下教育について研究。

「満洲国」における日本語教育を題材に、戦争が終わったあと、人びとが教育をどのように振り返り、語ろうとしたのかを見ていきます。教師や学習者の体験を通して、教育がその時代の社会や考え方とどのように結びついているのかを考えます。こうした歴史を通して、多様性が重視される現代社会や国際情勢の揺らぎの中で、当たり前前に思っていることを見つめ直し、皆さんと一諸に考えたいと思います。

受 講 に つ い て

○受講対象者 / 愛媛県内在住・在勤の方

○受 講 料 / 無 料

○申 込 方 法 / 窓口、電話、郵送、FAX
メール、ホームページ

注) ◆ 先着順(定員に達し次第、終了)
◆ 空きがあれば当日受付可。
お問い合わせください。

○休 講 等 / 悪天候などによる変更は、
ホームページ等でお知らせします

お 申 込 み は こ ち ら



スマートフォンから簡単に
申し込みいただけます



スマートフォンのカメラで
QRコードを読み込むだけで
申し込みフォームが開きます



会 場 へ の ア ク セ ス マ ッ プ

中 予 会 場

愛媛県生涯学習センター
松山市上野町甲 650 番地



東 予 会 場

愛媛県総合科学博物館
新居浜市大生院 2133-2



南 予 会 場

八幡浜みなとみなと交流館
八幡浜市宇沖新田1581番地2



お 申 込 み ・ お 問 い 合 わ せ

〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲 650 番地
TEL (089) 963-2111 FAX (089) 963-4526

愛 媛 県 生 涯 学 習 セ ン タ ー

E メール top@i-manabi.jp
ホームページ https://www.i-manabi.jp/